



佐藤照彦議員

漁業振興

漁業後継者への助成を

実情を調査し漁協と協議

の成育状況は。

質問 産業振興を問う。
①陸前高田市などでは漁業の新規参入や後継ぎへの助成を創設した。本町も創設すべきでは。

②県はアワビ種苗放流の効率化に力を入れようとしている。本町はどう対応するのか。

③県が放流したナマコ種苗

沼崎町長

①後継者問題は助成制度を作ればよいという問題でもなく、他市町村の要綱などが本町の漁業形態の実情に即しているかを調査しながら、漁業者側の受け入れ体制が取れるかを含め、漁協と協議し



漁業者の期待を背負っています
(海中のアワビ)



[混獲率]

漁獲したアワビのうち、
放流したものの割合

町の考えを聞く

景気対策

住宅リフォームへの助成を

慎重に検討したい

たい。

②アワビ種苗放流の投資効果を検証するための混獲率調査が行われていない

状況であり、調査の実施体制の構築を漁協にお願いしている。受益者負担の原則の中で、漁協や漁業者ができることをすることが最初の行動と考える。ナマコ種苗の生息密度は、放流前とほとんど変わらず効果の検証までに至っていない。増産はあまり期待できない。

質問

宮古市では、住宅リフォーム工事への助成が千件を超え、さらに千件、1億円の追加を検討しているという。本町も住宅リフォーム工事への助成を実施すべきでは。

沼崎町長

県内では14市町村で住宅リフォームに対する補助を実施している。補助対象工事は30万円以上が6団体、50万円以上が4団体となっている。また、補助金については9団体が商品券での交付となっている。

る。

宮古市では20万円以上のリフォーム経費に対し10万円を補助しており、県内で最もハードルが低いことから予想外の利用件数になったものと思われる。

本町でも早急に事業実施をということだが、地域の景気対策、活性化事業として、リフォーム関係者以外への配慮や、補助制度の中身によってその規模が異なってくるので、慎重に検討したい。